

## 卓越大学院プログラム 事後評価結果

|          |                                       |               |       |
|----------|---------------------------------------|---------------|-------|
| 機関名      | 名古屋大学                                 | 整理番号          | 1909  |
| プログラム名称  | 情報・生命医科学コンボリューション on グローカルアライアンス卓越大学院 |               |       |
| プログラム責任者 | 門松 健治                                 | プログラムコーディネーター | 勝野 雅央 |

### 卓越大学院プログラム委員会における評価

|  |
|--|
| <p><b>〔総括評価〕</b></p> <p>S：計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。</p>   |
| <p><b>〔コメント〕</b></p> <p>卓越した学位プログラム、「知のプロフェッショナル」を養成する体制等の構築については、デジタル生命医科学、マルチレイヤー生命医科学、国際性・多様性の3つの柱を支軸として、高度な知のプロフェッショナルを育成するプログラム CIBoG を立ち上げ、その目的を達成した点は評価できる。情報・生命医科学のコンボリューションという面ではコホート・個体・分子の3つのレイヤーを「グローバルからローカルへ」という社会空間の観点から捉え、グローバルに活躍できる卓越リーダーの育成に成功した。とりわけ、愛知県、岐阜県、静岡県などの地域の自治体において本プログラムに基づく社会実装を実現し、地域医療という面で社会貢献している点は高く評価できる。</p> <p>修了者の成長については、名古屋大学と岐阜大学との強い連携体制の下で、東海国立大学機構の学習管理システムを活用しつつ、他方、ノースカロライナ研修など独自の取組なども活用することによって大きな教育成果を出している。研究科やラボの垣根を超えたデュアルメンター制度は学生の成長機会の幅を広げている。100人論文の企画なども修了者の成長に大きく寄与した。このような教育研究上の努力によって、毎年、募集定員を上回る応募者があり優秀な学生のリクルートに成功しており、多くのKPIを達成している。</p> <p>キャリアパスの構築については、CIBoG beyond、CIBoG リトリート、修了者メンターなどを活用することによってきめの細かい濃密なネットワーク形成に成功し、これがキャリアパス形成に大きな影響を与えている。他の医療機関や企業などの外部組織との連携協力がうまくなされていることもあって、大学などの研究機関だけではなく、企業・病院などに多様かつ優秀な人材を輩出していることに加えて、データサイエンティストの育成にも成功した点は高く評価される。</p> <p>大学院全体への波及効果及び事業の継続・発展については、博士課程教育推進機構、東海国立大学機構への展開、NU 卓越大学院プログラム、メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業などを通じて6つの博士課程教育リーディングプログラムと4つの卓越大学院プログラムが博士課程教育推進機構の大学院改革・社会連携部門に集約される形で、卓越大学院プログラムが発展的に大学院改革につながり、新たな大学院像が示された点は評価できる。また、こうした改革を着実に支えるための具体的な仕組み（例えば Boot Camp）などが組み込まれている点も評価できる。</p> |